

外国語の話せる添乗員制度の創設について

このことについて、True Japan Tour 株式会社から、日本文化体験交流塾に対して、「外国語の話せる添乗員 English-Speaking Tour Manager (ETM)」制度の創設が提案された。11月2日、NPO 日本文化体験交流塾の理事会において、「通訳案内士との関係を明確にすること」との条件を付して、以下のとおり承認したので、お知らせします。

第1 概要

1 実施主体

特定非営利活動法人日本文化体験交流塾及び True Japan Tour 株式会社が連携して実施する。

(1) 特定非営利活動法人日本文化体験交流塾(IJCEE)

- ・会員数 1200 名 その 90%を超える者が全国通訳案内士である。

(2) True Japan Tour 株式会社(TJT)

・ True Japan Tour 株式会社が運営する通訳案内士等の養成機関である True Japan School には、通訳案内士試験合格者の 25%が所属している。

・ True Japan Tour 株式会社は、旅行業法第 12 条の 12 に定める、旅程管理主任者の観光庁承認の登録研機関である。2023 年は、208 名が受講し、旅程管理主任者の資格を取得している。

2 開始時期

2024 年 2 月上旬

第2 新制度が必要とされる背景

- ・ 2023 年 4 月、全国通訳案内士の絶対的な不足が生じた。
- ・ 全国通訳案内士の受験者の減少、試験問題の難問・奇問の増加に伴い通訳案内士試験の合格者が不足している。
- ・ 日本通訳案内士団体連合会は、添付ファイルのと通りの要望書を提出したが、JNTO による検討会は、開催されなかった。その結果、1 次合格者は、少数にとどまり、2024 年 2 月の合格者も多くないと予想される。

2023 年 10 月末に開催されたトラベルマートにおいて、海外のエージェント、国内の旅行会社共に、全国通訳案内士の不足に憂慮していた。それとともに、新しい形の人材(英語の話せる添乗員等)に対する強いニーズがあることが分かった。

第3 新制度の設置目的と条件

1 旅程管理能力を有し、かつ外国語の話せる人材の育成し、確保すること

不足する全国通訳案内士を補完するとともに、観光現場のニーズに即応した人材育成として、「外国語の話せる添乗員」を創設する。

外国語の話せる添乗員は、各言語ごとに創設する。英語にあつては、以下のとおり表現する。

英文表記「English-Speaking Tour Manager」 略称は、ETMとする。

2 通訳案内士との関係

理事会での委員の意見を踏まえて、以下のように定義する

(1) 全国通訳案内士の上位性

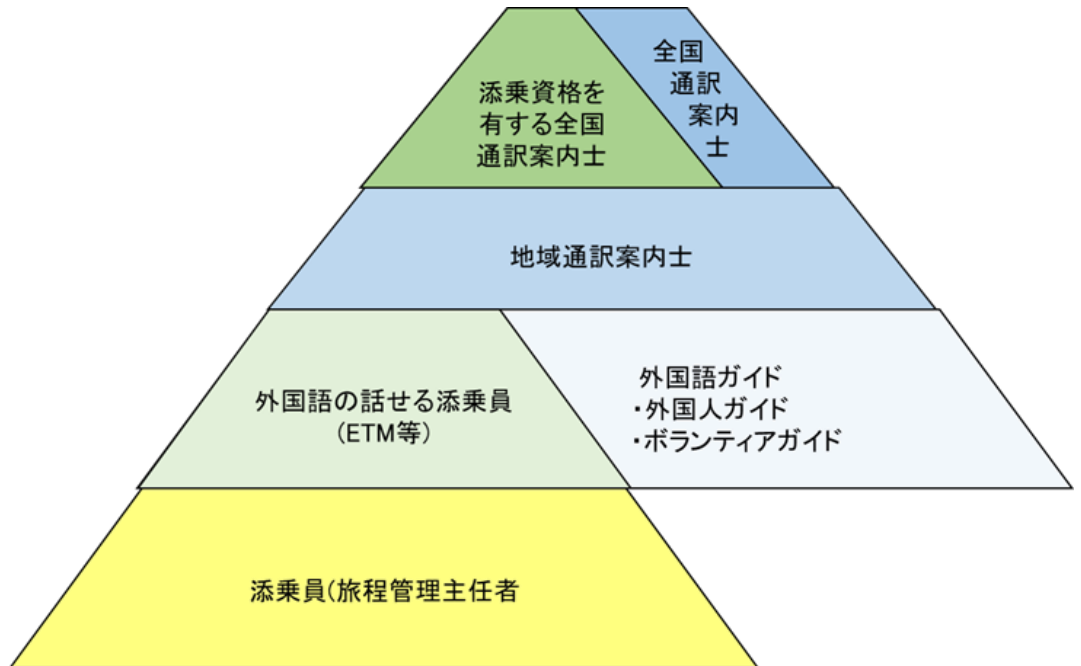
- ・外国語を用いて、外国人に旅行に関する業務を実施するにあたっては、国家試験合格者である全国通訳案内士を上位としておく。
- ・与えられる業務や活動分野が全国通訳案内士に比べて、簡素なため、処遇も全国通訳案内士に比較して、下位となる。

(2) 全国通訳案内士を目指す者に対する支援・準備等

・全国通訳案内士試験の問題が極めて難解で、試験合格が壁となっている。このため、何年も費やして合格に至る者が少なくない。こうした者にとって、収入の確保として、ETM等を提供する。

・通訳案内士試験1次試験合格者にとっては、2次試験が課題となる。2次試験は、口述の面接試験が中心となる。本試験は、単なる知識を問うのではなく、実際のお客様に対する対応能力が試される。現在、合格率は、50%程度と低い。その理由の一つとして、受験生の経験不足があげられる。

受験生が、ETM等として、活動することにより、現場感覚を身に着ける。これにより、全国通訳案内士として、飛躍していくステップとする。



第4 語学の話せる添乗員(ETM等)制度の概要

1 種別と主な認定基準、活動の場

種別	旅程管理主任者	認定に必要な条件	活動の場(例)
ETM等 2級	有資格者	True Japan Schoolの実施する公開試験において、以下の科目で合格すること。 ・語学(英語) ・日本歴史 ・日本地理 ・一般常識 ・通訳案内の実務	・料理、茶道等の体験講師 (以上については、各専門研修が必須です。) ・空港・ホテル送迎 ・日帰りのガイドツアー(繁忙期であって、遠隔地のクルーズ船など、ほかに、適任者のいないときに限る)
ETM等 1級	有資格者	2級合格者のうち、IJCEEの実施する新人研修を受講し、プレゼンテーション演習で、一定以上の評価を得た者	2級ETMの活動の場に加え、以下の活動が可能です。 ・相撲稽古場見学ガイド ・築地ガイド (以上については、各専門研修の受講が要件となります。) ・外国の高校生などの教育旅行における添乗員など、より幅広い活動機会が与えられる。 ・外国人顧客のいる企画募集旅行等の添乗員として、派遣する。
特1級	有資格者	・1級の資格を得て、2年以上の実務経験を要する者から試験等により、認定する。 詳細は、今後の検討課題とする。	

2 能力認定の方法

全国通訳案内士の実績を踏まえつつ、True Japan Schoolの実施する公開模試による能力認定を行う。すなわち、1次試験で不合格な科目があっても、当社模試において、実力を発揮した者を当社の「英語の話せる添乗員」(English-Speaking Tour Manager)として、認定する。

年4回程度(1月、3月、5月、7月)に公開模試を実施し、能力の認定を図る。(2023年受験者数 700人余、2024年は、1000名を超える受験者を想定)

3 ETM 2 級の認定基準

試験科目	合格点 (通訳案内士 試験)	試験範囲	試験免除	教科書
語学	70 点 (70 点)	<ul style="list-style-type: none"> ・観光庁試験に準 ずる ・英作文を加える 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光庁試験の免除科目 に該当する者 ・観光庁試験において語 学の筆記試験に合格した 者ことのある者 	<ul style="list-style-type: none"> ・三修社「全国通訳 案内士試験「英語」 合格! 対策」
日本歴史	60 点 (70 点)	<ul style="list-style-type: none"> ・観光庁試験に準 ずる ・建築・美術を重 点とする 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光庁試験の免除科目 に該当する者 ・観光庁試験において日 本歴史の筆記試験に合格 したことのある者 	<ul style="list-style-type: none"> ・三修社「全国通訳 案内士試験「歴史」 合格! 対策」 ・高校「日本史」
日本地理	60 点 (70 点)	<ul style="list-style-type: none"> ・観光庁試験に準 ずる ・訪日客が訪れる 地域を重点とする 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光庁試験の免除科目 に該当する者 ・観光庁試験において日 本地理の筆記試験に合格 したことのある者 	<ul style="list-style-type: none"> ・三修社「全国通訳 案内士試験「地理」 合格! 対策」 ・「地域の歴史が学 べる通訳ガイドガイ ドの観光ガイドブッ ク」京都編、東京編 等シリーズ
一般常識	60 点 (60 点)	<ul style="list-style-type: none"> ・観光白書 ・日本文化を重点 とする 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光庁試験の免除科目 に該当する者 ・観光庁試験において一 般常識の筆記試験に合格 したことのある者 	<ul style="list-style-type: none"> ・国際人のための日 本文化の基礎知識 (当社出版物) ・特別研修「日本文 化」講師 米原亮三
通訳案内 の実務	60 点 (60 点)		<ul style="list-style-type: none"> ・観光庁試験において通 訳案内の実務の筆記試験 に合格したことのある者 	

※学科の免除は、通訳案内士試験に準ずる。

ただし、外国人ネイティブにあっては、日本語能力認定による。

これにより、通訳案内士試験の対象としない言語の者も、日本の歴史、地理、一般常識等を身に付ける機会とする。

※学科試験は、通訳案内士試験又は、当社公開模試に1度でも合格した場合、以降は、有資格とする。
また、通訳案内士試験の1次試験合格で、2次試験に進んだ者は、旅程管理主任者の資格を得て、2級認定となる。

4 ETM 1級の認定基準

2級の有資格者は、日本文化体験交流塾の実施する新人研修を受講することができる。本研修に付随する、プレゼンテーション演習で一定以上の得点を得た者は、English-Speaking Tour Manager 1級の資格を認定する。

※2級認定者は、IJCEE主催の新人研修を受講することができる。この場合において、事後的に全国通訳案内士試験に合格した者は、その後の新人研修を受講することなく、ガイド実務に従事することができる。

以上 報告します

特定非営利活動法人日本文化体験交流塾 理事長 米原亮三

5 今後のスケジュール

日程	時間	実施内容	備考
2023年12月24日(日)	9時00分～9時30分	ETM 制度説明会	
2024年1月13日(土)	13時00分～13時30分	ETM 制度説明会	
2024年1月14日(日)	9時30分～11時30分	講義 日本文化Ⅰ	講師 米原亮三
	12時30分～14時30分	講義 日本文化Ⅱ	
2024年1月28日(日)	10時00分～17時00分	TJS 全国通訳案内士 試験 公開模試 (ETM 等 認定試験)	

【事務局】

日本文化体験交流塾及び True Japan Tour 株式会社
通訳案内士育成室 秋本陽二

住所：東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 本館 B109

電話：03-6432-0193

Eメール：info@tjschool.jp

2023年9月13日

観光庁長官殿

全国通訳案内士試験の適正な実施についての要望

日本通訳案内士団体連合会
会長 米原亮三

本年8月20日に実施された全国通訳案内士試験については、通訳案内士試験のガイドラインに基づく適切な対応をされるよう、下記のとおり要望します。

記

◎要望事項

全国通訳案内士試験ガイドラインに基づく検討会の開催を要望します

◎根拠となるガイドライン

・実際の平均点が、合格基準点から著しく乖離した科目については、当該科目の試験委員と試験実施事務局から構成される検討会を開催する。その結果、必要があると判断された場合には、合格基準の事後的な調整を行う。この調整は、平均点の乖離度及び得点分布を考慮して行う。」

◎理由

本年も、8月20日(日)に実施された全国通訳案内士試験では、日本地理及び一般常識の試験で、難問・奇問が続出しました。私達、通訳案内士試験指導教室の受験生に対するヒアリングでは、受験者の平均点は、極めて低いと推定されます。

2017年以前は、「検討会」による「合格基準の事後的な調整」は、毎年のように実施されてきましたが、2018年以降は、ほとんど実施されていないと推定されます。

新型コロナウイルス感染症によるインバウンドの低迷期を経て、現在、通訳案内士試験は受験生離れ、実施主体の赤字などの課題があります。

また、インバウンド再開後、旅行業界の通訳案内士に対するニーズは高く、供給不足の状況にあります。

このようななかで、「合格基準の事後的な調整」なしで、合格判定を行うことは、合格者の減少、試験に対する信頼感の喪失を招き、さらに問題を深刻化させる恐れがあります。

つきましては、ガイドラインに基づいて、当該科目の試験委員と試験実施事務局から構成される検討会を開催していただくよう、切にお願いいたします。

◎ 理由の説明

第1 通訳案内士に対するニーズについて

1 減少する通訳案内士受験者

2017年以降、毎年、受験者が減収している。観光庁においては、受験生が減少するので、受講料の値上げを検討せざるを得ないとしている。

西暦	年号	受験者数	受験者数/ 2026年	合格者数	合格者数/ 2026年	合格率
2016年	平成28年	11,307	100%	2,404	100.0%	21.3%
2017年	平成29年	10,564	93.4%	1,649	68.6%	15.6%
2018年	平成30年	7,651	67.7%	753	31.3%	9.8%
2019年	令和1年	7,224	63.9%	618	25.7%	8.5%
2020年	令和2年	5,078	44.9%	489	20.3%	9.6%
2021年	令和3年	3,834	33.9%	347	14.4%	9.1%
2022年	令和4年	3,472	30.7%	571	23.8%	16.4%

出典 日本政府観光局発表資料

2 通訳案内士の不足

日本のある大手旅行会社から、通訳案内士団体に以下のメールが寄せられている。

「富裕層 FIT、欧米シリーズツアー等で英語ガイドが全く足りておりません。」このような悲鳴に似た声が、インバウンドを取り扱うほとんどすべての旅行会社から寄せられている。

また、通訳案内士団体(IJCEE)では、「本年2月11日から4月21日の間で、ガイドの派遣依頼は、2561件であった。うち、1554件には、対応したが、1007件は、対応できなかった。」と観光庁に報告している。

以上のように、今年の春は、ガイド不足がインバウンドの障害となっている。

しかし、日本政府観光局(JNTO)の調査によると、2023年4月の訪日外客数の総数は、対2019年比で、66.6%の水準に過ぎなかった。英語圏でみると、イギリス82.0%、米国108.0%、豪州79.6%と、8割程度であった。にも拘わらず、以上のように、通訳案内士の不足がインバウンドの障害となった。

さらに、本年7月の訪日外客数の総数は、対2019年比で、77.6%まで回復している。これを英語圏の国別でみると英国93.3%、米国126.7%、豪州102.1%と2019年の水準まで回復している。

新型コロナウイルス感染症後のインバウンドの回復傾向は、堅調である。

第2 試験問題の振り返り

1 日本地理について

(試験のガイドライン)

・ 試験は、外国人観光旅客が多く訪れている又は外国人観光旅客の評価が高い観光資源に関連する日本地理についての主要な事柄（日本と世界との関わりを含む。）のうち、外国人観光旅客の関心の強いものについての基礎的な知識を問うものとする。

◆以下に、6題の難問・奇問を掲載する。ほかにも4題の難問(問13、問14、問22、問24)があった。合格点が70%以上とされており、30題中10題もの難問は、適切な国家試験とは言えないと考える。

問題6

問題	○富山県立山町は、日本一の急流とされる(b)によって形成された扇状地上に中心市街地がある。bを次から1つ選びなさい。 ①黒部川、②庄川、③常願寺川、④神通川 答え ② 常願寺川
コメント	4つの河川はすべて、北アルプスを源流として、富山湾に流れています。常願寺川が日本一の急流とされていますが、常識とはいえず、多くの登山家にとって、黒部川の急流の方が有名です

問題7

問題	○立山信仰の拠点は、(b)中流に展開する宗教集落である(c)にある。cを次から1つ選びなさい。 ①芦峯寺、②勝興寺、③瑞泉寺、④本證寺 答え ① 芦峯寺
コメント	芦峯寺は、現在では、知名度が低い。例えば、じゃらん立山駅周辺の観光スポットでは、40位以内で紹介されていない。地元の通訳案内士でさえ、出題に疑問を寄せている。

問題8

問題	○香取市の市域中部から南部にかけては(a)台地。aを次から1つ選びなさい。 ①上総、②下総、③常陸、④武蔵野 答え ②下総
コメント	下総台地は、千葉県民でも必ずしも知らない名前。九州や北海道の人も受験する問題と

	<p>しては、不適切。</p> <p>※千葉県職員に尋ねても、正解が得られなかった。難問というより、奇問である。</p>
--	--

問題 9

問題	<p>○長野県東御市は、県東部に位置する。市域の中心部を(a)が東西に流れている。a を次から1つ選びなさい。</p> <p>①木曾川、②犀川、③千曲川、④天竜川 答え ③ 千曲川</p>
コメント	<p>東御市は、小県郡東部町と北佐久郡北御牧村の2町村が合併して、平成16年4月1日に誕生した。発足時の人口は約32,000人である。受験生の大半が知らないと推定される。</p>

問題 16

問題	<p>○ (b)は、京都の「大文字山」として知られる。b を次から1つ選びなさい。</p> <p>①鞍馬山、②天王山、③如意ヶ嶽、④比叡山 答え ③ 如意ヶ嶽</p>
コメント	<p>鞍馬山、比叡山ともに。京都市内から北方の山であり、如意ヶ嶽という地名は、基礎的な知識とは言えない。</p>

問題 28

問題	<p>○沖縄の宮古島の東端には約2kmにわたって続く細長い岬である(b)がある。b を次から1つ選びなさい。</p> <p>①御神崎、②喜屋武岬、③東平安名崎、④辺戸岬 答え ③ 東平安名崎</p>
コメント	<p>選択肢は、すべて沖縄県内にあり、特に、御神崎は、石垣島である。東平安名崎という地名は、基礎的な知識とは言えない。</p>

2 一般常識について

(試験のガイドライン)

・ 試験は、現代の日本の産業、経済、政治及び文化についての主要な事柄（日本と世界との関わりを含む。）のうち、外国人観光旅客の関心の強いものについての基礎的な知識（例えば、試験実施年度の前年度に発行された「観光白書」のうち、外国人観光旅客の誘客に効果的な主要施策及び旅行者の安全・安心確保に必要となる知識、並びに新聞（一般紙）の1面等で大きく取り上げられた時事問題等）を問うものとする。

◆以下に、2題の難問・奇問を掲載するが、ほかにも5題以上の難問があった。合格点が60%以上とされており、19題中7題もの難問は、適切な国家試験とは言えないと考える。

問 8

8. 政府は、海外から優秀な人を招き入れ日本企業の競争力向上につなげるため、日本で働く高度外国人材を増やす新たな受入策を講じた。受入策の説明のうち、正しいものはどれか。次の①～④から一つ選びなさい。(3点)
- ① 世界大学ランキングの上位校の卒業者が就職活動で滞在できる期間を現行の90日から最長180日に延ばす。
 - ② 年収2,000万円以上の研究者らは、入国時に永住権が得られる仕組みを定める。
 - ③ 高度専門職として認められ、さらに一定の条件を満たした場合、外国人使用人を最大2名まで雇用することができたり、配偶者がフルタイムで働くことができる。
 - ④ 高度専門職として認められた外国人材は、国籍別では2021年末時点でインドが66%、2位が中国(6%)、3位の韓国(4%)であった。
- 8

答え③

◆コメント

外国人観光旅客の関心の強いものについての基礎的な知識とは言えない。

問 17

15. 2022年3月に国土交通省は、東京地下鉄株式会社「(ア)の延伸」に係る鉄道事業許可について、申請どおり許可することを決定した。空欄(ア)に当てはまる組み合わせとして正しいものはどれか。次の①～④から選びなさい。(3点)
- ① 東西線・日比谷線 ② 有楽町線・南北線 ③ 銀座線・日比谷線 ④ 有楽町線・半蔵門線
- 17

答え③

◆コメント

外国人観光旅客の関心の強いものについての基礎的な知識とは言えない。地下鉄の社員に、延伸計画を尋ねたところ、正確な回答はなかった。

このような知識を一般の通訳案内士が持つべき知識とは思えない。

第3 来年度以降の制度の是正についての要望

来年度以降の課題としては、次の事項があり、観光庁で実施予定の検討会等で検討してほしい。

- 1 一次試験の合格科目の有効期間を翌年の試験まででなく、期限を廃止して欲しい。
- 2 1次試験の地理と歴史について、他の国家試験とのバランスを踏まえて、合格ラインを6割程度にしてほしい。
- 3 試験問題の難問や奇問を減らしてほしい。
- 4 問題の適正化をはかるため、一次試験の内容をチェックする試験委員に、経験豊富な通訳案内士を指名してほしい。